

2022年度中間期決算説明資料



(2022年11月現在)

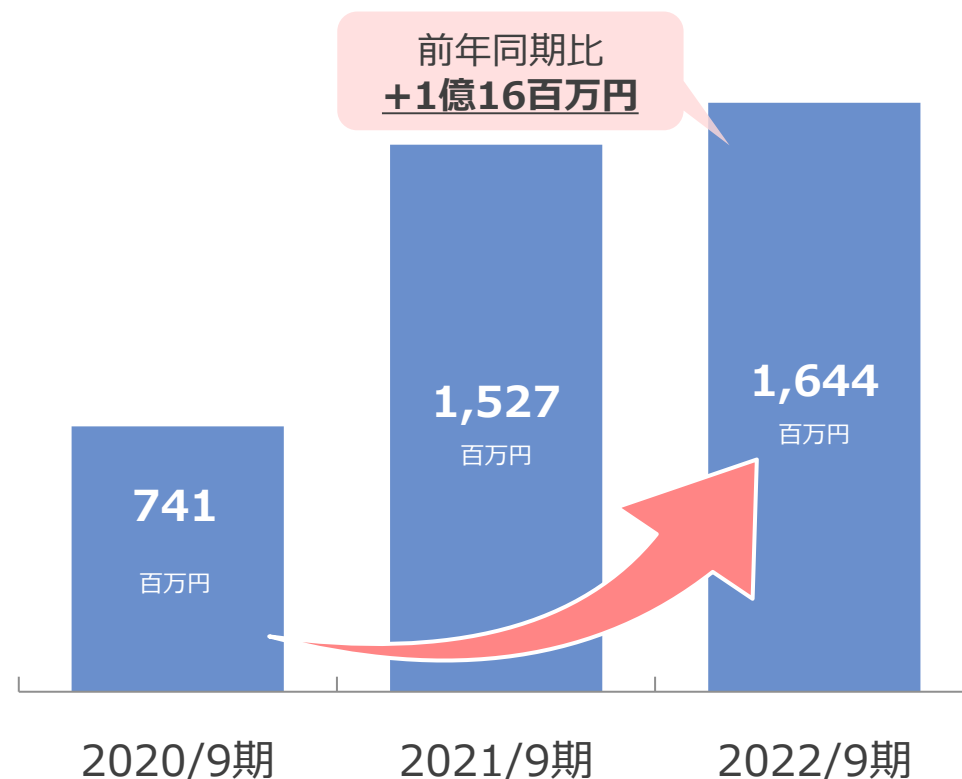
1. 2022/9期（中間期）の業績

貸出金利息の増加等に伴う資金利益（除く投資信託解約損益）の増加や、営業経費の減少などにより、本業収益であるコア業務純益（除く投資信託解約損益）は前年同期比増加しました。

単体

(百万円)	2021/9期	2022/9期	増減
経常収益	5,821	5,907	85
資金利益 <small>(除く投資信託解約損益)</small>	3,979	4,197	218
役務取引等利益	1,062	757	△304
経費 (除く臨時処理分)	3,525	3,437	△88
経常利益	1,287	1,482	194
当期(中間)純利益	866	838	△28
コア業務純益 <small>(除く投資信託解約損益)</small>	1,527	1,644	116
与信関連費用	156	△8	△165
総資金利鞘	0.14%	0.16%	0.02%
お客さま向けサービス業務利益率	0.20%	0.21%	0.01%

コア業務純益（除く投資信託解約損益）※

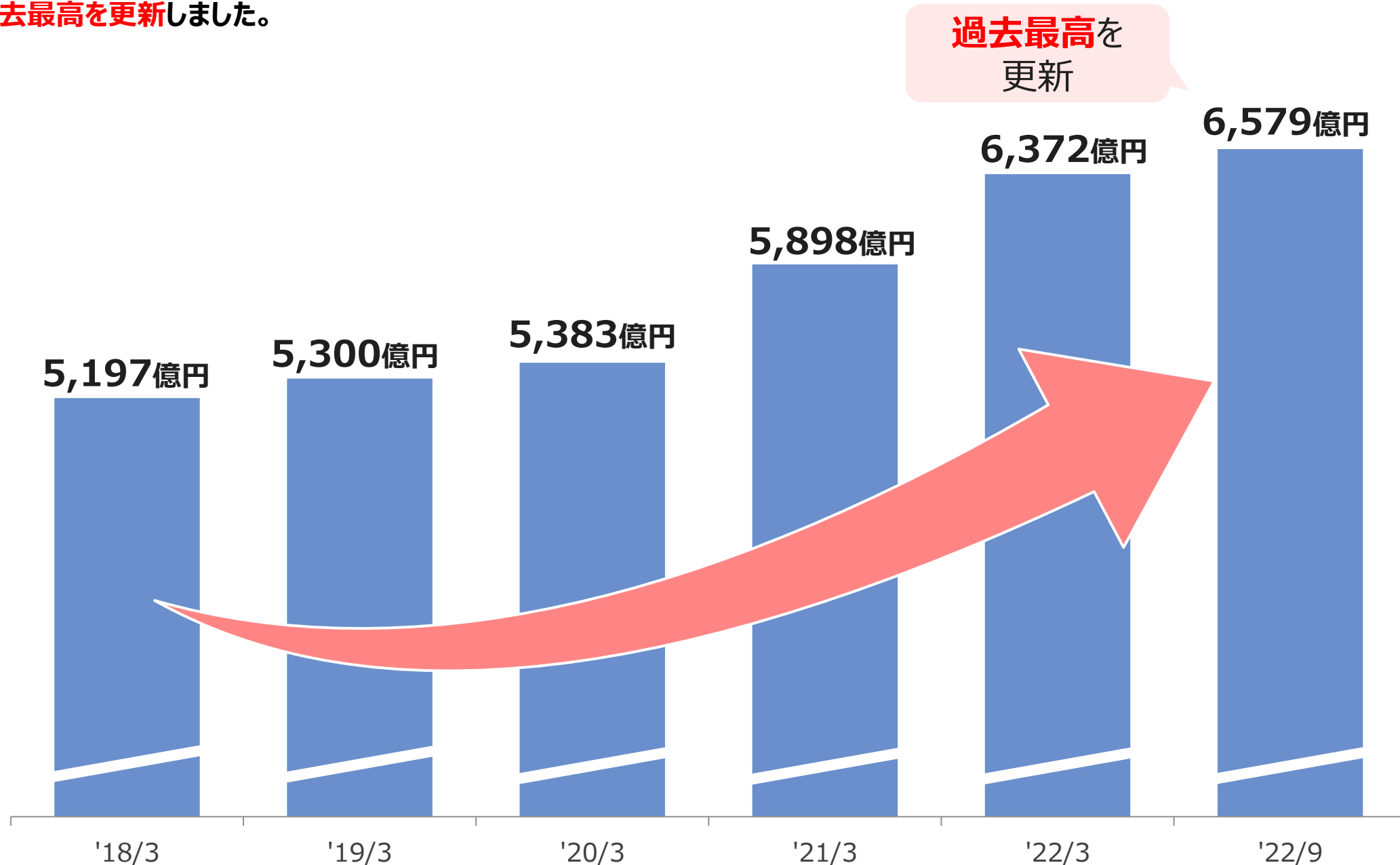


※ コア業務純益(除く投資信託解約損益)

貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあらわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動要因を除いたもの。

2. 貸出金の推移（単体）

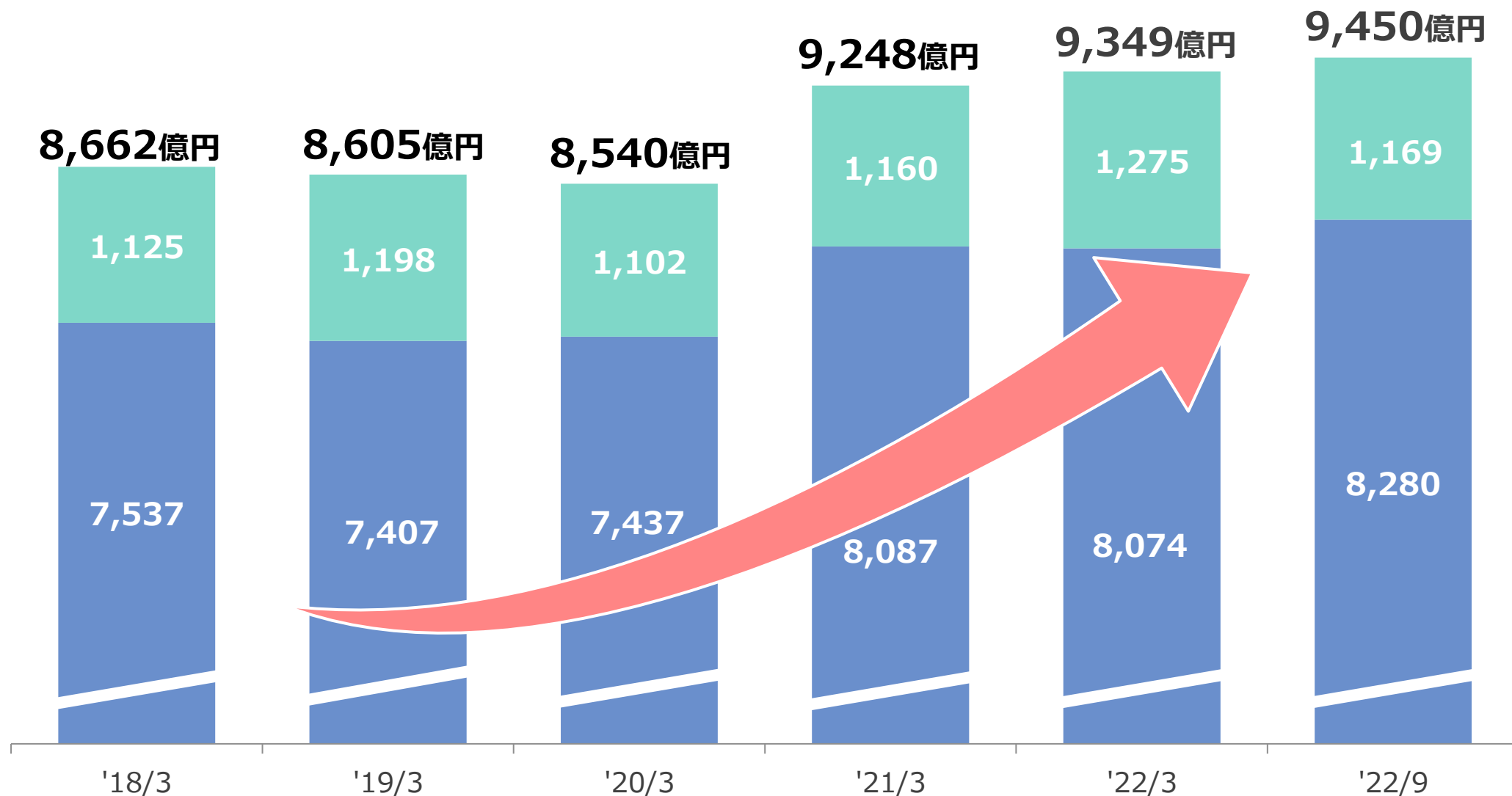
2022/9末の貸出金残高は、主に住宅ローンが増加したことなどから、2022/3末比207億円増加して6,579億円となり、**過去最高を更新**しました。



3. 総預金＋預り資産残高の推移（単体）

2022/9末の総預金と預り資産残高の合計は、総預金の増加を主因に2022/3末比100億円増加して9,450億円となりました。

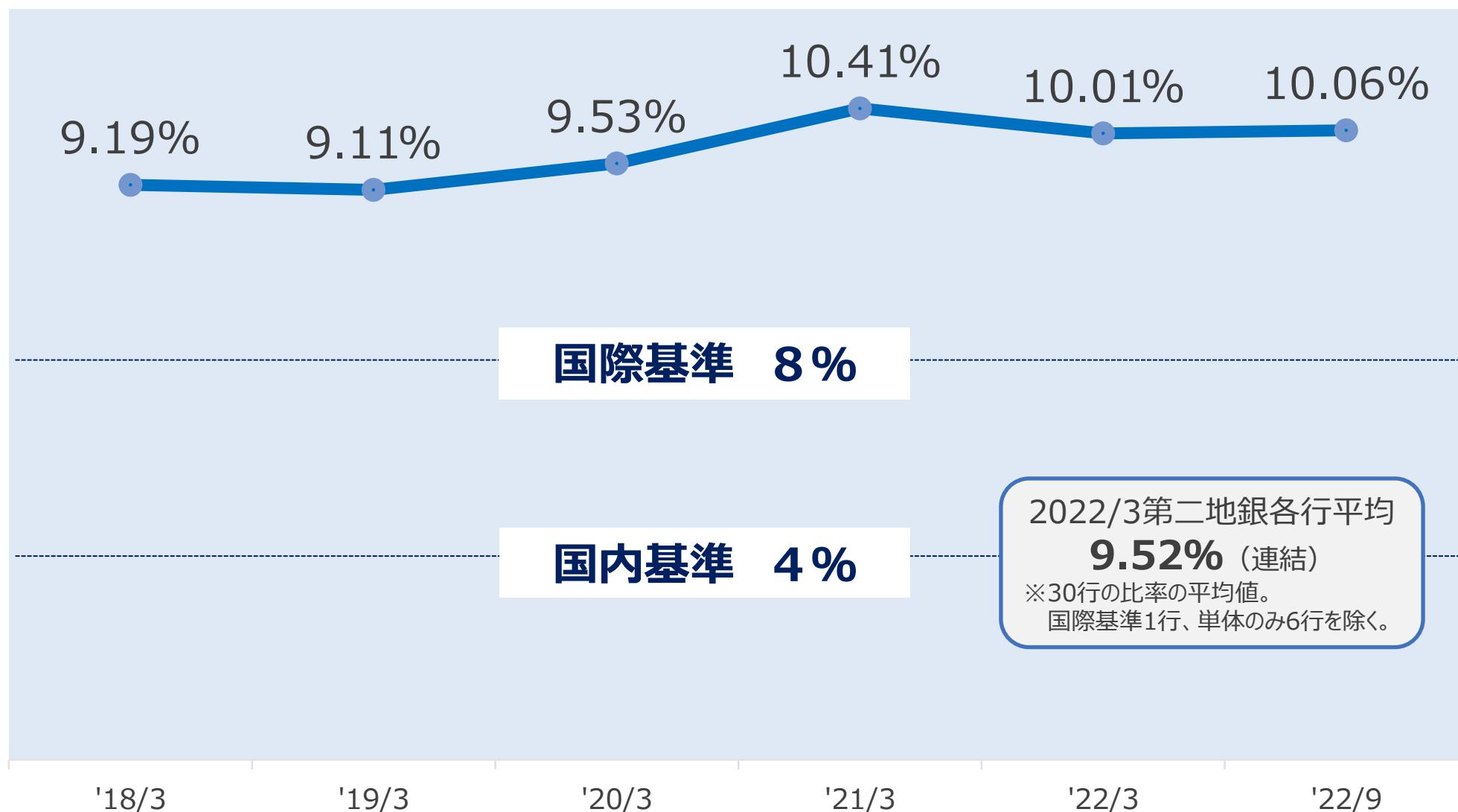
■ 総預金（末残） ■ 預り資産（投資信託＋公共債＋個人保険）



4. 自己資本の状況（連結）

2022/9末の連結自己資本比率は10.06%となり、2022/3末比0.05ポイント上昇しております。

● 連結自己資本比率



本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいませようお願いします。

本資料に関するお問い合わせ先
大東銀行 経営部
TEL : 024-925-3872 (ダイヤルイン)